

みずほCustomer Desk Report 2019/02/08号(As of 2019/02/07)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.95
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.99	1.1366	125.04	1.2933	0.7112
SYD-NY High	110.09	1.1369	125.04	1.2997	0.7117
SYD-NY Low	109.61	1.1324	124.35	1.2854	0.7090
NY 5:00 PM	109.83	1.1338	124.50	1.2951	0.7103
NY DOW	25,169.53	▲ 220.77	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,288.35	▲ 86.93	日本10年債	-0.0100	1.00bp
S&P	2,706.05	▲ 25.56	米国2年債	2.4825	▲ 4.48bp
日経平均	20,751.28	▲ 122.78	米国5年債	2.4639	▲ 4.36bp
TOPIX	1,569.03	▲ 13.10	米国10年債	2.6563	▲ 4.28bp
シカゴ日経先物	20,525.00	▲ 345.00	独10年債	0.1120	▲ 4.85bp
ロンドンFT	7,093.58	▲ 79.51	英10年債	1.1760	▲ 3.80bp
DAX	11,022.02	▲ 302.70	豪10年債	2.1405	▲ 3.90bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.39	0.25%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.96	0.05%
NY金	1,314.20	▲ 0.20	USDJPY 6M Vol	7.43	0.00%
WTI	52.64	▲ 1.37	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	178.10	▲ 2.46	EURJPY 3M Vol	7.49	0.19%
ドルインデックス	96.54	0.15	EURJPY 6M Vol	8.10	0.15%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月7日	08:05	クオールズFRB副議長 講演「米経済見通しは堅調、インフレはなお抑制されている」		
	09:00	パウエルFRB議長 講演「米経済は失業率とインフレ率の両面で良い状況にある」		
	09:30	NAB企業信頼感	4Q 1.0	-
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -0.4%	0.8%
	21:15	欧 メルシエ ECB 専務理事 講演「ユーロ圏経済の減速、リセッションには発展しない」		
	21:30	英 カーニー BOE 総裁 講演「合意なき EU 離脱はマイナス成長の可能性を高める」		
	22:30	米 新規失業保険申請件数	234k	221k
	23:15	米 カプラン・ダラス 連銀総裁 講演「マイナス金利が米国で実行可能な選択肢が懐疑的」		

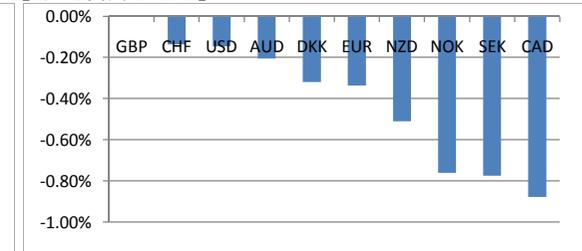
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月8日	09:30	米 ブラード・セントルイス 連銀総裁 講演		
	16:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 0.6%/-1.4%	-1.3%/-2.1%
	16:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	12月 1.1%/-1.2%	-1.4%/-2.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.20-110.30	1.1300-1.1450	123.50-125.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は引き続き狭いレンジでの推移。110円台に乗せる場面もあるも、BoE金融政策決定会合にてEU離脱を巡る混迷の影響が指摘された点や、米中首脳会談は3月1日前の開催はないとトランプ氏が発言、上値重く推移した。本日もイベント・指標発表の予定少なく、年始からの戻り基調も一服感があるため、週末を前に一段と膠着感の強い相場を予想する。

東京	東京時間、109.99レベルで取引を開始したドル円は110.03円をつける場面も見られたが、公示発表後に日経平均株価が下落する中、109.73円まで反落。その後、パウエルFRB議長の講演では「米経済は現時点で好調」と述べるにとどまったことから相場への影響は限定的。後場に入ると日経平均株価が下げ渋る中、ドル円はじりじりと上昇し、109.93レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.93レベルでオープン、高値110.09円まで上昇する場面も見られたが、欧州委員会が2019年ユーロ圏GDP見通しを1.9%から1.3%に引き下げたことを受けてリスクオフとなり、ドル円は109.64円まで下落し、109.65レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2933レベルでオープン、英中銀の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定するも、BREXITの不透明感を理由に2019年GDP見通しを大幅に引き下げたため、一時1.2854まで下落。しかしその後は反発し、1.2904レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は一時110.09円まで上昇するが、欧州委員会によるユーロ圏GDP見通しの引き下げを受けてユーロ円が下落する中、109.64円まで連れ安となり、109.65レベルでNYオープン。NY朝方は米新規失業保険申請件数が予想を上回ったものの、この結果を受けたドル円の反応は薄く、ドル買いが先行し109.80円まで上昇。しかし外ロ-米NEC委員長の「米中通商合意までかなり距離がある」との発言に米中通商協議の進展への期待が後退し、米株が下げ幅を拡大する動きを横目に109.61円まで反落する。その後109.84円まで戻すが、トランプ米大統領が「関税引き上げ期限(3月1日)前に中国の習主席と会談することはない」と述べたことが伝わり、109.75円まで再度反落。NY終盤は109.80近辺で方向感なく推移し、109.83レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは欧州委員会がユーロ圏経済成長見通しを下方修正したほか、フランスが「度重なる非難や挑発的言動」へ抗議するため駐イタリア大使の召還が発表され、フランスとイタリアの関係悪化への懸念が強まる中、ユーロ売りが優勢な展開。一時1.1324まで下落するが、その後ユーロが買い戻され1.1345レベルでNYオープン。NY朝方はユーロドルは1.1330まで下落するも、米株の下落にドルが売られる展開となったことから1.1360まで反発。取引材料が乏しい中、その後は1.1350を挟んだ狭いレンジで推移し、1.1338レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:岡本・田家